

目標達成計画

作成日: 平成 28年 12月 16日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	重度の利用者が体調変化があったり、気分が乗らず外出を拒むこともあり、行きたい所へ行きたい時に外出できる支援ができない。	一人ひとりのその日の外出の希望を聞き取り、利用者の体調を見ながら行きたい所へ行けるようになる。	軽度の方は気軽に外出できているので、車椅子対応で重度の方について、体調を考慮しながら家族やボランティアの協力を得、行きたいところへ自由に外出できるよう援助する。	12ヶ月
2	10	家族会はあるが参加人数が少なく、少人数の家族からは事業所の運営に対して要望や意見がほとんど出ない。	家族が行事やレクリエーションに気楽に参加できるようなアイデア作りをし、その後、家族会に出席していただき事業所の要望や意見が忌憚なく出るようになる。	年間の行事として、春の花見や忘年会に手紙や面会時に早めにお誘いして、機会をうかがう。花見の場所などを家族と一緒に考える。忘年会の余興に家族の参加を早くからお願いをし、参加型にする。来やすい雰囲気作りをする。	12ヶ月
3	4	運営推進会議へ家族や地域住民の参加が少なく、事業所の活動内容が伝わらず運営に関心があまりない。	運営推進会議に多くの家族、住民が参加し、事業所の活動に多くの意見がもらえサービスの向上に生かす。	地域住民の集まる行事に積極的に参加し、多くの住民に事業所へ関心を持ってもらう。交流することで運営推進会議の理解を深め、参加して頂けるようにする。家族には議事録を掲示するだけでなく、送付をし運営会への参加協力を得る。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。